

令和4年3月定例市議会の質疑・一般質問

3月8日(火) 午前10時～ 質問者順

① 泉雄太議員【よつ葉の会】

発言事項	内 容
<p>質疑1 第13号議案</p>	<p>令和4年度三木市一般会計予算</p> <p>(1) 結婚新生活支援制度</p> <p>ア 見込件数、内容の内訳</p> <p>イ 旧2事業の件数及び金額</p> <p>ウ 購入物件が市空き家バンクに登録されているか否かで補助金に差をつけた理由及び今後の空き家バンクの登録促進</p> <p>(2) 保育士等の処遇改善</p> <p>ア 既存の市単独の保育士等処遇改善と比較して、対象者がどう変わり、何名増えるのか</p> <p>イ 3%程度の収入向上によって、全職種の平均と比較において保育士がどの程度の年収となるのか</p> <p>ウ これまでの処遇改善加算ⅠとⅡの効果</p> <p>エ 国は2021年度から地域区分別に予算積算上の人件費額を公表したが、全国的に積算額と実際の保育士の年収との差が大きいとの指摘がある。人件費について民間園任せにせず、確実な賃金改善につなげる施策</p> <p>(3) 高校生までの入院医療費の無償化</p> <p>ア 高校生の入院医療費のみを無償化する理由</p> <p>イ 外来医療費まで無償化した場合の費用</p> <p>ウ 兵庫県内の導入状況</p> <p>(4) 三木版健康アプリ</p> <p>ア マイナンバーカード取得が前提の事業だが、現状マイナンバーカードの取得率及び普及促進方法</p> <p>イ ポイント付与について、国保加入者以外の市民も事業対象者となっているが、一年間で最大5,000ポイントが貯められるような制度設計になっているのか</p> <p>ウ ポイント交換はどのように行うのか、ポイントはどこで使えるのか</p> <p>エ 現行の健康ポイント制度はどうなるのか</p> <p>オ 過去のマイナポイント活用事業では高齢者から使いにくいという声もあったが、今後の自治体ポイント普及に向けた周知、取組</p> <p>(5) 青山7丁目団地再耕プロジェクト事業</p> <p>ア 造成工事の内容及びスケジュール</p> <p>イ 基本構想の内容はどうなるのか</p> <p>ウ 基本構想策定、施設整備のスケジュール</p> <p>(6) スケートボードパークの整備</p> <p>ア 全体整備計画に対する今回の整備の考え方</p> <p>イ 整備内容とスケジュール</p> <p>ウ 管理の方法、利用料</p> <p>エ 市内を周遊する仕組みづくりを行うとしているが、その内容</p>

質疑2 第14号議案	令和4年度三木市国民健康保険特別会計予算 (1) 特定健診の受診料の無料化 ア 40歳～74歳の対象者数と予算の見込み者数 イ 16歳～39歳の特定健診の受診料を据え置いた理由 ウ 受診料無料化による財政への影響
一般質問1 学力向上について	(1) これまでの学力向上の取組の成果 (2) 主要教科についてどの程度の授業時間がタブレットを活用した自ら学ぶ授業スタイルに代わるのか (3) 自ら学ぶ授業スタイルによってどの程度の時間短縮効果を挙げ、協同型・探求型の授業スタイルにどの程度の授業時間数を確保するのか (4) それぞれのスタイルの授業時間数について目標数値を設定しなければ、評価検証ができず、結局は現場任せとなってしまおうと考えるが、目標数値の設置はするのか (5) 学習道具として、STEAM教材の活用が挙げられているが、予算は確保されているのか
一般質問2 行政のデジタル化推進について	(1) 令和4年度中にはほぼ全ての手続きをオンラインにするという自治体も出てきているが、今回のマイナポータルのぴったりサービス、電子入札以外のオンライン申請はどのようなものを検討しているか (2) ニーズの多い手続きのオンライン化を優先すべきだが、市役所内各課の事務手続きについて、件数の把握、業務の棚卸しは行えているのか (3) 先進市では、保育所施設等の入所選考の自動化などでAI化、RPA化により、大幅に業務時間を削減しているが、三木市での導入

② 岸本和也議員【公政会】

発言事項	内 容
質疑1 第1号議案	三木市部等設置条例の一部を改正する条例の制定 (1) 行政のデジタル化とはどのような未来を描いているのか (2) 地域のデジタル化
質疑2 第13号議案	令和4年度三木市一般会計予算 (1) デマンド型交通運行補助金 ア 1,700万円の内訳 イ 利用者状況（登録者数、利用者数、乗り合いとなっている率） ウ システムの利用状況と必要性
一般質問1 施政方針について	(1) 株式会社サントリーホールディングスの出向社員受け入れと広報アドバイザー ア 出向社員受け入れとなった経緯 イ 目的と仕事内容 ウ 広報アドバイザーによる職員の意識改革 エ SNSの分析 オ 外部人材に頼る理由 (2) 太陽光発電施設に対する条例 ア 太陽光発電施設に対する条例について、今起きている課題をど

	<p>のように反映するのか</p> <p>イ 太陽光発電パネルに対する法定外目的税</p> <p>(3) 持続可能な健全財政</p> <p>ア 健全財政を打ち出す中、過去最大の予算となった理由</p> <p>イ 県の行財政改革の影響</p> <p>ウ 財政健全化計画が秋までかかる理由</p> <p>(4) 施設一体型の小中一貫校</p> <p>ア 施設一体型小中一貫校までのタイムスケジュール</p> <p>(5) 青山7丁目住宅団地</p> <p>ア 永続的に世代が循環するモデルタウンの具体的な構想</p> <p>イ 今後のタイムスケジュール</p>
<p><u>一般質問2</u></p> <p>口吉川町の活性化について</p>	<p>(1) 口吉川町へのこれまでの取組</p> <p>(2) 農村部の人口減少を止めるための移住定住施策など注目してもらえる施策を市として考えているか</p> <p>(3) 口吉川町区長協議会からの遊具設置の要望</p> <p>(4) テレビ組合に対する支援</p> <p>(5) 里脇における地域再生計画の構想</p> <p>(6) 地酒づくりの取組推進</p>
<p><u>一般質問3</u></p> <p>学校におけるコロナ対策について</p>	<p>(1) 学校におけるコロナ対策（マスク・消毒・手洗い等以外に行っていること）</p> <p>(2) オンライン授業の実施状況</p>

③ 松原久美子議員〔公明党〕

発言事項	内容
<p><u>質疑1</u></p> <p>第1号議案</p>	<p>三木市部等設置条例の一部を改正する条例の制定</p> <p>(1) デジタル推進課の詳細</p>
<p><u>質疑2</u></p> <p>第13号議案</p>	<p>令和4年度三木市一般会計予算</p> <p>(1) 行政手続きのオンライン化を推進</p> <p>ア 手続きの連携</p> <p>イ 連携されない手続きの対応</p> <p>ウ セキュリティ対策</p> <p>(2) 多文化共生推進プラン策定</p> <p>ア 庁内検討委員会、策定委員会</p> <p>イ 推進プランの柱</p> <p>ウ プランの期間、策定後の検証や評価、見直し</p> <p>(3) 小中一貫教育を推進</p> <p>ア 9年間で子どもを育てる体制づくり</p> <p>イ 実践推進校</p> <p>ウ 協議会</p>
<p><u>一般質問1</u></p> <p>施政方針について</p>	<p>(1) 新たなデジタル化戦略の際には、通信機器に不慣れな高齢者など、全ての人が必要な技術を最低限使える環境を保障する「デジタル・ミニマム」の考え方を取り入れ「誰一人取り残さない」デジタル社会の実現を図っていく事が極めて重要であると考えているが市長の見解を問う</p> <p>(2) 三木の未来を守るため、持続可能な健全財政を進める取組のひとつにふるさと納税、企業版ふるさと納税の獲得の強化を挙げられ</p>

	ているが、全国に三木市を売り込む市長としての考えや意気込みを問う
<u>一般質問2</u> 防災対策について	(1) 昨年の避難所運営訓練の成果と課題 (2) 避難所指定要員となる職員を中心に避難所運営訓練ゲームHUGの活用 (3) 電気自動車の現在の配備状況と今後の給電訓練 (4) 防災会議に外国人の視点の必要性についての考えと防災委員として国際交流協会から委員の委嘱はできないか
<u>一般質問3</u> 女性のデジタル分野の人材育成と就労支援について	(1) 政府として、女性デジタル人材育成を推進する方針を決定しているが、国の地域女性活躍推進交付金を活用して三木市でも取り組み、就労支援に繋げるべきと考えるが市の見解は

令和4年3月定例市議会の質疑・一般質問

3月9日(水) 午前10時～ 質問者順

① 初田稔議員〔よつ葉の会〕

発言事項	内 容
<u>質疑1</u> 第20号議案	令和3年度三木市一般会計補正予算(第10号) (1) 山田錦まつり開催中止による200万円の減額補正 ア 代替事業決定以前に200万円の減額を決めた理由 イ 代替事業(事業費100万円)
<u>質疑2</u> 第13号議案	令和4年度三木市一般会計予算 (1) 異業種交流連携促進事業(100万円) ア セミナー開催に対する支援に加え更なる支援 イ 受賞商品等をふるさと納税返礼品に追加採用すること (2) みきエキバル事業補助金(160万円) ア 事業費160万円の内訳 イ パスポートの販売単価・販売目標・対象店舗の目標数 ウ 飲食代金の下限を2,000円とし、飲食代を一律500円割引くこと に対象店舗の協力は得られるのか エ 割引だけでなく、パスポートを使いたくなる・買いたくなる・ 対象店舗が協力したくなるセールスポイント (3) 公民館整備事業1億4,170万円の内、自由が丘公民館空調改修事 業費2,700万円の件 ア 令和3年度に空調改修工事費1,340万円を上程した経緯 イ 前回の見積り金額と今回の設計業者の積算金額との大きな差異 ウ 機器の入れ替え工事見積もり等専門性の高い職務に専門外の教 育委員会の職員が、一定以上に係っていたと思われること エ ウを踏まえ用度係等を設けること オ 実施設計、仕様書作成、管理費等を自前で行うこと
<u>一般質問1</u> 地場産業山田錦の発 展について	(1) 山田錦の酒の海外コンテストの経緯・結果 (2) 山田錦まつりのオンライン開催 (3) 山田錦まつりの拡充 (4) 新型コロナウイルス終息後の山田錦の市場予測と振興策
<u>一般質問2</u> 都市整備について	(1) 国土交通省の狭あい道路整備等促進事業 ア 市内の狭あい道路整備にこの事業を積極的に活用していない理 由 イ 宮前地区の整備計画にもこの制度を活用できるのではないか ウ 市として今後の取組
<u>一般質問3</u> 別所地域の雨水対策 について	(1) 草谷・相野地域の雨水対策については稲美町、加古川市との協議 が必要となると思うが進んでいるのか (2) 石野のひょうたん池及び下流域の住居地域の安全対策 (3) 石野の住民の方々は養鶏場の巨大化等により、コンクリート面積 が格段に広がったことにより、雨水の量が増え、水害につながる のではないかと心配されている。市として調査等はされている のか

② 大眉均議員〔日本共産党〕

発言事項	内 容
質疑1 第21号議案	令和3年度三木市国民健康保険特別会計補正予算（第4号） (1) 赤字4.6億円を一般会計から借入金2.3億円
質疑2 第14号議案	令和4年度三木市国民健康保険特別会計予算 (1) 特定健診受診料無料化、受診率向上対策
一般質問1 ひょうご情報公園都市整備について	(1) 次期工区約100haの整備を兵庫県企業庁が進めることになった ア 事業の概要と県市の負担 イ アクセス道路の整備
一般質問2 地球温暖化対策について	(1) 地球温暖化対策実行計画の策定 ア 現計画の目標、区域施策編の策定 (2) 太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する取組 ア 市内の太陽光発電設備の現状 イ 5,000㎡未満の施設に対する条例制定 ウ その他の再生可能エネルギー発電 (3) 次期ごみ処理施設の整備 ア 基本計画（処理方式、整備費用）
一般質問3 教育のまち推進について	(1) すべての子どもに基礎的な学力を保障すること ア 個別最適な学び推進「みっきいすてつぶ」の内容 (2) 少人数学級 ア 学級編成の状況 イ 35人学級の導入 (3) 小中一貫教育 ア これまでの取組と今後の方針 イ カリキュラム ウ 教職員の取組と負担軽減 (4) 志染小学校バス通学児童への支援
一般質問4 国民健康保険について	(1) 財政健全化計画で、保険税が引き上げされるが、「国民健康保険税の不足の補填を加入者でない大多数の市民の市税から負担し続けてきたことの矛盾を解消します」として「受益者負担が原則の本来の姿に戻します」としていること ア 社会保障としての国民健康保険制度の見解 イ 保険税を低く抑えるために行われてきた一般会計からの繰入

③ 新井謙次議員〔志公〕

発言事項	内 容
質疑1 第13号議案	令和4年度三木市一般会計予算 (1) 次期ごみ処理施設の整備事業（9,708万円） ア 次期ごみ処理施設整備事業当初予算の概要 イ 処理方式決定の経緯 ウ 有識者の意見 エ ハイブリッド方式に決めた要因とリスク オ 今後のスケジュール (2) がん患者へのアピアランスサポート事業（67万円） ア 事業費の内訳 イ 対象者と所得制限

	<p>ウ 対象補正具とその助成額 (3) 子ども食堂運営助成事業(90万円) ア 三木市内で実施している子ども食堂の現状 イ 補助対象者・経費・内容 ウ 行政が行える補助金以外の支援、食材の提供、立ち上げ時の相談等 エ 今後の三木市内での展開</p>
<p><u>質疑 2</u> 第 20 号議案</p>	<p>令和 3 年度三木市一般会計補正予算 (第 10 号) (1) 緑が丘小学校土砂災害対策工事の実施 (4,000 万円) ア 土砂災害特別警戒区域の指定はいつ頃されたのか イ 工事対象区域の現状 ウ 工事費と工事内容 エ 工事のスケジュール オ 保護者、子ども達への周知 (2) 学校・園・アフタースクールにおける感染症対策の充実 (6,069 万円) ア 小・中・特別支援学校の施設管理物品の購入 イ 就学前施設及びアフタースクールの公立園・民間園に対する支援 ウ 施設内感染を防止するための公立園・民間園に対する簡易改修 エ 教職員の負担軽減措置</p>
<p><u>一般質問 1</u> 三木市幼保一体化計画の見直し</p>	<p>(1) 三木市幼保一体化計画の見直し決定までの経緯 (2) 志染保育所の廃止年月日を令和 3 年 9 月に条例改正で削除し、新たに令和 1 7 年 3 月 3 1 日に廃止年月日を条例改正で加える必要 (3) パブリックコメント</p>
<p><u>一般質問 2</u> 新型コロナウイルス感染による市内小・中・特別支援学校・園の状況</p>	<p>(1) 学級閉鎖、学年閉鎖など市内小・中・特別支援学校・園の状況 (2) 授業時間数の確保 (3) 卒業式・入学式 (4) 一人 1 台支給されているコロナ禍でのタブレットの使用状況</p>

令和4年3月定例市議会の質疑・一般質問

3月11日(金) 午前10時～ 質問者順

① 板東聖悟議員〔日本共産党〕

発言事項	内 容
質疑1 第7号議案	三木市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定 (1) 県内近隣市の状況 (2) 入院のみと通院含む場合及び所得制限有無での試算額 (3) 入院時無料で所得制限なしとなった検討内容
質疑2 第13号議案	令和4年度三木市一般会計予算 (1) 子ども福祉医療事業 ア 市長の公約はこれで実現か、道半ばか
一般質問1 就学前・教育保育について	(1) 幼稚園の存続を求める声が幼保一体化計画決定後7年経過しているのに幼稚園の存続を求める声がある理由の認識 (2) 保育士不足により、園が受入していない児童はどのような子どもか (3) 市内の施設で1号認定児と2号認定児の複合クラスの有無と常時異年齢のクラスの有無
一般質問2 DV被害者の公営住宅への入居について	(1) 配偶者暴力相談支援センターへの相談件数と公営住宅に関する相談の有無 (2) 現在のDV被害者が公営住宅に入居する条件 (3) 配偶者からの暴力被害者の公営住宅への入居について、R4年1月25日付通達の内容とそれを受けての市の対応
一般質問3 自治体DXについて	(1) デジタル化推進体制 ア C I O及びC I O補佐官等の任用の考え方 イ 民間企業や国からの人材登用 (2) 自治体情報システムの標準化・共通化 ア 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律8条の条文とその内容 イ 標準化した場合の市独自の仕様変更はできるのか ウ 国が標準化の対象に指定する17業務と今後追加される可能性 エ 今後、市が新しい独自施策を実施する場合に標準化基準が妨げになることはないのか (3) 行政手続きのオンライン化 ア 窓口の無人化・廃止につながらないのか (4) A Iの活用 ア A Iの活用の検討
一般質問4 民間人材の活用	(1) 採用の経緯 (2) 立場と期間 (3) 民間企業にとってのメリット
一般質問5 性的少数者のパートナーシップ証明制度	(1) 当面の課題 (2) 市内での問い合わせ状況 (3) 創設時期

② 堀元子議員〔三木新党〕

発言事項	内 容
質疑1 第13号議案	令和4年度三木市一般会計予算 (1) 青山7丁目団地再耕プロジェクトの推進事業費 (3億700万円) ア 事業の目的 イ 掲げている「多世代循環」 ウ 事業費の積算根拠 (2) 三木金物のブランド戦略事業費 (360万円) ア 目的と内訳 (3) 地域公共交通計画の策定事業費 (530万円) ア 参画事業者との連携
一般質問1 教育行政について	(1) コロナ禍における児童の感染者数と影響 (2) タブレット学習の現状と課題 (3) インクルーシブ教育への取組 (4) オーガニック給食の実現 (5) 発達障がいのある児童への対応 (6) 幼保一体化計画案の見直し (7) ヤングケアラーや生活困窮世帯の児童への早期発見の取組
一般質問2 公共交通政策について	(1) バス停留所の路線表示板のわかりにくさ (2) MaaS (モビリティ・アズ・ア・サービス) (3) バス、タクシー、電車を一つの公共インフラとしての資源とする考え方 (4) 子どもに利用しやすい交通インフラなのかの検証 (5) シニア世代から見て「通院、買い物」の移動方法は市内10地区から確保されているのかの検証
一般質問3 農福連携について	(1) 重要な課題と認識するが需要と供給の把握の現状 (2) 現行の制度設計と今後の推進

③ 古田寛明議員〔走政クラブ〕

発言事項	内 容
質疑1 第13号議案	令和4年度三木市一般会計予算 (1) 三木版健康アプリを導入 (3,181万円) ア 健康ポイント事業との相違 イ 想定参加者数2,000人とした理由 ウ 付与ポイントの継続 (2) 未来を創る学力を育成「三木モデル」事業 (309万円) ア 未来を創る学力育成プロジェクト会議 イ 学力向上対策委員会 ウ 教職員の資質・能力向上の研修
一般質問1 避難行動要支援者の個別避難計画の作成について	(1) 避難行動要支援者の現況 (対象者および人数) (2) 災害時要援護者調査書 (くらしあんしんシート) の提出状況 (3) 個別避難計画と調査書にある個別支援プランとの違い (4) 避難行動要支援者名簿の作成と管理 (5) 個別避難計画はだれがどのように作成するのか

	<ul style="list-style-type: none"> (6) 支援者の確保や負担感の軽減 (7) 個別避難計画の作成上の課題
<u>一般質問2</u> 小中一貫教育の推進 について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 小中連携三木モデルの総括（成果や課題） (2) 三木市の「めざす15才の姿」の作成と共有 (3) 小中一貫教育導入における課題 (4) コミュニティスクールの導入開始 (5) 推進スケジュール
<u>一般質問3</u> 三木市スポーツ振興 計画の策定について	<ul style="list-style-type: none"> (1) スポーツ振興ビジョンとの違い (2) 「観る」スポーツの具体策 (3) スポーツクラブ21の現状と今後の取組 (4) スポーツ推進委員の役割や活動 (5) 障がい者スポーツにおける福祉部門との連携